

稲光会報

第44巻 65号

令和3年 3月00日発行
編集 早稲田大学稲光会
発行人 内田陽子
題字 滝口 宏

http://wasedafencing.com



駒場(4年・右)対慶應原田(ワセダクラブ卒)。同点に追いつかれるも、最後は一本勝負を制す

早慶戦の報告

新型コロナウイルス感染症に振り回された2020年度。全日本選手権個人戦が、あらかじ

本年度 最初で最後の公式戦 早慶戦で総合優勝を果たす!!

め限られた選手にのみ出場権を与えられた大会になってしまい、多くの部員たちにとっては早慶戦が唯一の公式試合になりました。初戦の男子エペは、序盤にヒヤッとさせられる場面もありましたが、すぐにリードを取り返し、そのまま確実に勝利しました。続く女子エペは、慶応が女子では最も注力している種目であり、早稲田が常にリードを保ったものの大接戦となりました。特に最後は、30対24から、ワセダクラブ出身で一昨年の全日本選手権優勝者である慶応の原田紗希が怒涛の反撃を見せ、32対32の一本勝負に持ち込まれましたが、そこは早稲田もエースの駒場みなみが見事に制してくれました。これで流れは完全に早稲田です。次の男女サーブルは、ともに力の差があり、男子が45対34、女子が45対17で勝利し、ここまで四種目連勝で総合優勝

を確定させました。男子フルーレは慶応もメンバーがそろっており、息詰まる熱戦となり、選手たちががんばりましたが、36対45で本大会唯一の敗戦となりました。しかし最後は、例年通り各大会が開催されていけば5冠を狙える位置にいた我が女子フルーレが45対18で難なく勝利し、これで2020年度の、そして「早稲田」としての選手生活を終える4年生にとつての、有終の美を飾ってくれました。今回ライブ配信を実現でき、全国の先輩方に応援していただくことができました。おかげさまで部員たちも、熱戦を練り広げることができました。これからも、世界中どこにいても先輩方から応援していただけるよう、慶応と協力してライブ配信を行ってまいります。今後ともよろしくお願いたします。

監督 内田敏朗



富山泰男

新潟在住の富山です。昨年、コロナ禍の中、12月に結婚しました。稲光会の先輩方には、祝福していただき感謝しています。ありがとうございました。今年冬、新潟は大雪でした。近年、暖冬少雪に慣れてしまっていたので、久しぶりの大雪は大変でした。平野部でも道路には雪の壁ができて、新潟が雪国であることを再確認しました。コロナウイルス感染拡大がおさまって、早稲田大学のフェンシング場で稲光会の先輩諸氏に再会できることを待ち望んでいます。



平井真希子(旧姓神田)

大変ご無沙汰しております。私事で大変恐縮ですが、この度仕事関係で知り合った方と結婚致しまして、この場をお借りしてご報告させていただきます。幸い大きな異動を伴うことなく、仕事も変わらず続けられております。最近新型



眞所美莉

私事では御座いますが令和3年2月13日に結婚致しました。又、これに伴い大阪へ転勤となりました。出身地仙台で18年、学生時代・社会人初期を過ごした東京で11年。そして新天地である大阪で新たな生活基盤をゼロから作って参ります。関西にお立ち寄りの際は是非お声がけ下さい！(追伸)馴初めは、ひとつ下の後輩である西森夫妻の結婚式



田村彩和子(旧姓山村)

令和2年11月22日に入籍し、「田村」となりました。2人共早稲田出身、母校が大好きなので、よく「早稲田に行きたいね」と話しております。最近の趣味は着物なので、マイ着物でお出掛けした写真をお届けします。(見た目に反して？歳は一つしか変わりませんが)最後になりましたが、また楽しく飲み交わせる日が来るまで、皆様お元気でお過ごしください。岡山から、皆様のご活躍を祈念しております。

安部凌

令和2年3月22日に入籍いたしました。出会いは、21歳のときにフェンシング部男部員総勢30名で行った合コンです笑。その時、僕が与えた印象は「大酒飲み」「うざい」で嫌われてしまいました。が、その翌年に再会、約4年の交際を経て結婚することになりました。今は松戸に住んでいて、奥さんとネットフリックスで映画を観ながら過ごしています。入籍は僕の誕生日、挙式は奥さんの誕生日21年4月3日に行う予定です。挙式は家族中心で行う予定ですが、皆さんからの祝儀は「電子マネー」「ペイペイ」で！お待ちしております！



眞所美莉

平成26年卒

田村彩和子(旧姓山村)

平成29年卒

安部凌

平成29年卒

OB・OG お便り

晴れやかな門出

結婚のご報告

Happy Wedding



新主将の高原と新主務の村上

新主将 高原 真央

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、練習や合宿ができなかったり、大会が中止になってしまったりと苦しい1年でした。その苦しさや悔しさを発散し、昨年成し遂げられなかった目標を叶えるべく、練習や試合ができることに感謝しながら、部員一丸となって日々の練習に励んでいます。今年度は部員数が少なく、大変なところは多々あると思われていますが、部員全員で強くなれるように試行錯誤してまいります。早稲田の伝統を残しつつ、新しいことに挑戦する1年にしたいです。

新主務 村上万里亜

現在、先輩方が引退して21人の新チームとなりました。昨年は沢山の大会が中止となり、モチベーションを保つことが難しいと感じていましたが、OBOGの方々のご支援があり乗り越えることができました。引き続き感染症対策を徹底し、練習ができていくことに感謝して強化練習に励み、大会へ臨んでいきます。そして、自分たちが思い描く早稲田らしさで突き進む1年にしていきたいです。また主務として円滑な部の運営や部員のより良いサポートができるよう努めています。



新4年生の4名です！OBOGの皆さま、お力添えの程よろしくお願いたします！右から村上万里亜、高原真央、増田陽人、中島美月

フェンシング部の展示始まる

早稲田スポーツミュージアム(戸山キャンパス早稲田アリーナ3階)の「体育各部コレクション」として、2021年3月1日～6月8日の間、フェンシング部の紹介・展示が行われています。

展示内容は中央の特別展示として、女子フルールの試合装備、電気剣など一式がマネキンで紹介されています。ウォール展示では、部の紹介、競技説明や歴史を物語る写真パネルのほか、サーベル、エペのユニフォーム、電気剣、



マスク等も飾られています。また、レジェンド品として、1954年全日本選手権エペ個人優勝の竹村晃先輩(S32卒)のメダルをはじめ、1988年ソウルオリンピック出場の出野晴信先輩(H04卒)の使用したシューズやフルールの剣、2007年全日本エペ男子団体優勝盾、2015年全日本を含め5冠を達成した女子エペのトロフィー、盾、写真のほか、東京オリンピック候補・松山恭介(H31卒)、加納虹輝



選手(令和元卒)の2018年アジア大会での獲得メダル、2019年ワールドカップエペ優勝メダル、2020年全

日本フルール優勝のメダルも展示されています。なかなか見ることのできない展示内容ですので、機会を逃さず期間中にぜひ見学をお勧めいたします。

(副会長 平野健一)



早稲田大学スポーツミュージアムフェンシング部展示詳細

展示期間 ● 2021年3月1日(月)～6月8日(火)
 開館時間 ● 10:00～17:00
 休館日 ● 水曜日、祝日ほか(詳細はホームページの開館カレンダーをご確認ください)
 早稲田スポーツミュージアムのホームページ
<https://www.waseda.jp/culture/about/facilities/spomu/>

早慶戦の裏舞台で見えてきたこと

今年の早慶戦は無観客試合で行い、現役部員によるLIVE配信を行いました。はじめての試みだったので、試合前のテスト配信、撮影道具(iPadやパネル等)といった事前準備には運営側は時間を要しました。しかし、そのお陰で、試合当日は足を運べなかったOBOGも、会場にいるかのような臨場感溢れる試合を観ることができ、現役、OBOG同士の繋がりを

再確認することができました。コロナ禍によるデジタルの活用。この時代の変化には稲光会も柔軟に対応していきたいと思っています。物理的に不可能だった遠距離でのコミュニケーションも今後は可能になります。試合配信、OBOGの近況報告などもZoom等で開催していきたいよう、準備を進めていきたいと思っています。楽しみにしてください。稲光会幹事



(左上から)柴田、影山、駒場、中島、寺井(中段左から)狩野、溝口、仙葉



(左上から)柴田、影山、駒場、中島、寺井(中段左から)狩野、溝口、仙葉、遠



(左上から)柴田、影山、駒場、中島、寺井(中段左から)狩野、溝口、仙



(左上から)柴田、影山、駒場、中島、寺井(中段左から)狩野、溝口、仙



(左上から)柴田、影山、駒場、中島、寺井(中段左から)狩野、溝口、仙葉、遠藤、小山、川村、金高(前列左



(左上から)柴田、影山、駒場、中島、寺井(中段左から)狩野、溝口、仙葉、遠藤、蓮井、黒田、登尾、村上、千葉、高原、森多

春季合宿のご案内
 令和3年3月8日～3月16日

ニュー福寿荘
 〒401-0502 山梨県南群山中湖村平野140
 TEL 0555 (65) 8301

コロナ禍のため先輩方の参加はお控えください。現役への差し入れは大歓迎です。栄養補助食品(ゼリー、飲料、果物)等 ※ドーピング対象となり得るエナジードリンクはNG

矢口先生の奥様が 東洋大学学長に就任

知るのが大変遅かったのですが矢口先生の奥様が令和2年4月、東洋大学文学部部長から学長に就任されました。奥様は入学まで陸上の選手で東洋大学のスポーツ、特に箱根駅伝(今年早稲田より上の3位)に力を入れるそうです。早稲田にとって東洋大学はますます強敵になります。早稲田だけではなく東洋も応援しましょう!

故梅溪秀文先輩のご子息より過去最高額110万円の寄付をいただきました

故梅溪先輩(S29年卒)は、平成30年6月にお亡くなりになりました。生前は常に優しく、寄付をお願いすると快く多額の寄付をされました。今回も先輩の遺志を継いでご子息がフェンシング部に110万円寄付をされました。大変有難いことです。

おくやみ

八木 儔 先輩 昭和30年卒
 令和3年1月10日ご逝去 享年90

昭和29年全日本男子エペ団体初優勝メンバー。新人係も担当練習は厳しかったが練習が終わると後輩に優しくまた豪快な性格は誰からも愛されていました。(種竹清会長)

出浦文夫 先輩 昭和36年卒
 令和2年5月ご逝去 享年82

鈴木義孝 先輩 昭和36年卒
 令和2年6月6日ご逝去 享年82

近藤征一郎 先輩 昭和37年卒
 令和2年11月21日 享年81

日本一の名主務出浦君、学連一の論客鈴木君、私が次年度を託した近藤君。「花に嵐の例えもあるさ、さよならだけが人生だ」同じ釜の飯を食った戦友。実に悲しい、実に寂しい。冥福を祈る。(北原輝久名誉会長)